

119番通報の多様化に関する検討会の開催

防災情報室

1 概要

119番通報を取り巻く環境については、高齢化の進展や障がい者の社会参画の拡大等により、様々な状況における音声以外の緊急通報手段の需要が高まることが予想されることから、聴覚・言語機能障がい者等に対応した緊急通報について、いつでも全国どこからでも通報できる、音声によらない緊急通報技術を検討し、その手段を確立することを目的として、「119番通報の多様化に関する検討会」を発足し、去る9月1日に第1回検討会を開催しました。

2 検討項目

検討会では、広く普及しているスマートフォン等の携帯電話端末から、音声によらず、データ通信で通報ができるよう技術的条件を検討するとともに、プロトタイプ機を用いて基本的動作の検証を行います。

(1) 技術的条件

通報時における聴取項目、通報者及び消防本部インターフェース、回線通信手段等

(2) 実証実験

インターネット環境で動作する実証実験システムを構築し、技術的条件等を検証

(3) その他

基本情報の事前登録、通報方式の比較（Web／アプリ）、位置情報の取得、サーバ要件、非参加消防機関との連携、サービス提供事業者のあり方、外国語対応等

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討背景及び経緯、検討会の概要、検討項目（通報時聴取項目、通報者及び消防本部インターフェース等）について事務局から説明が行われ、今後の方向性等について検討が行われました。

4 今後のスケジュール

今年度は4回程度の検討会を開催し、上記2（1）に記載した技術的条件を取りまとめる予定です。

119番通報の多様化に関する検討会（第1回）委員名簿

（敬称略・五十音順）

【座長】

加納 貞彦 早稲田大学名誉教授

【委員】

浅利 靖 北里大学医学部救命救急医学教授

石井 夏生利 筑波大学図書館情報メディア系准教授

臼井 正人 東京消防庁総務部情報通信課長

小川 光彦 一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
情報文化部長

倉野 直紀 一般財団法人全日本ろうあ連盟理事

酒井 英男 埼玉西部消防局警防部指令第一課長

高松 益樹 全国消防長会事業部長

前田 洋一 一般社団法人情報通信技術委員会
代表理事専務理事



第1回検討会の様子

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室
TEL: 03-5253-7526